

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報  
平成28年度第4四半期（平成29年1月～3月）

1. 治安情勢

- ムンバイ市トロンベイ警察署で暴徒が警察車両に放火  
3月19日、トロンベイ警察は、ヒンドゥー教の神を冒瀆する写真をフェイスブック上にアップしたイスラム教徒の男を逮捕したが、20人のヒンドゥー教徒が男の引き渡しを求めて警察署に押しかけ暴徒化し、警察署に対し投石、3台の車両が放火される事案が発生した。
- グジャラート州でテロの実行を呼びかけていた者をテロ対策局が逮捕  
2月5日、グジャラート州ATS（テロ対策局）は、2002年に発生したゴドラ暴動においてイスラム教徒が虐殺された事案の復讐として、同州においてテロを実行するよう呼びかけていた男を逮捕した。
- グジャラート州でISILの信奉者2名を逮捕  
2月27日、グジャラート州ラージコットにおいて、繁華街での爆弾テロを計画していたとしてISILと連絡を取っていた男2名を逮捕した。
- ゴア州のビーチで25歳のアイルランド人女性が殺害  
3月14日、ゴア州カナコナのデオバークビーチで25歳のアイルランド人女性が殺害されているのが発見された。警察は同事件を強姦殺人事件として捜査している。

2. 邦人に係る一般犯罪情勢

殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

- ア 殺人  
邦人被害の事件は認知していない。
- イ 強盗  
邦人被害の事件は認知していない。
- ウ 強姦  
邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6 犯罪統計

ムンバイ市警察本部は、2017年1月1日から2月29日までに認知した犯罪件数について統計を発表した。主な犯罪の認知件数は以下のとおり。

○ 殺人	24件	（前年同時期対比	-3件）
○ 強盗	116件	（同	+5件）
○ 傷害	717件	（同	+18件）
○ 恐喝	14件	（同	-28件）

- 強姦 78件 (同 -57件)
- 窃盗 1,550件 (同 -64件)
- チェーン・スナッチング(※) 21件 (同 -94件)

(※) 女性が首等に身につけている貴金属をひったくる犯罪

殺人・強盗・恐喝等の凶悪犯罪は昨年比でほぼ横ばいであるが、昨年からムンバイ市警察が対策を強化したチェーン・スナッチングについては、その発生件数が昨年比で大きく減少している。

他方、邦人に関する犯罪被害状況であるが、昨年は単独の邦人旅行者を狙った睡眠薬強盗被害や窃盗事件が相次いで発生した。手口はいずれも親しげに近づいてきて打ち解けたところで睡眠薬入りの飲食物を勧められて昏睡したところを金品を窃取したり、目を離した隙に所持品を窃取して行方をくらませたりというものであったことから、知らない者から声を掛けられても不用意に誘いに乗らず、飲食物等進められても毅然と断る姿勢が必要である。